



# あすなろだより

2013年6月7日

発行 三重県立<sup>こども</sup>小児心療センター あすなろ学園 広報担当  
〒514 0818 三重県津市城山1 12 3 TEL.059 234 8700 FAX. 059 234 9361  
M A I L : asunaro@pref.mie.jp U R L :http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/

## ご挨拶

平成23年度から平成24年度はあすなろにとって記念すべき年になりました。

前園長の清水将之先生が、あすなろ学園将来構想として提案されていた、総合子ども医療ゾーン構想、「大里構想」が実現の途についたからです。

三重病院の敷地で、小児整形外科の草の実りハビリテーションセンターと児童精神科の小児心療センターあすなろ学園、さらに児童相談センター言語聴覚訓練部門が県立医療機関として合併し、国立病院機構三重病院の小児科と協働して、三重県に生まれ育つ子どもたちのための専門医療を提供するという計画です。

平成23年度に県議会で承認され、平成24年度になり整備計画を決定し、今年度建築物の基本設計実施設計に着手し、工事を経て平成29年度に開院という運びになりました。入院治療を受ける子どもたちへの教育も県立特別支援学校が担うことになりました。

子どもの育ちを支えるには、医療・教育・保健・福祉が連携する必要があります。三重病院の地でその連携がさらに充実するために、あすなろ学園もその総力をあげて取り組むつもりです。

皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

園長 西田 寿美

# あすなろ分校を 紹介します！

## 小学校

津市立高茶屋小学校あすなろ分校  
教頭 鈴木 恵子



津市立高茶屋小学校あすなろ分校は、あすなろ学園の敷地内の一番南に位置するところに校舎が建っています。1階が小学校、2階が中学校と分かれています。1階が小学校、2階が中学校と分かれています。あすなろ学園に入院と同時に、原則としてあすなろ分校に転入となります。分校は、入院している児童に義務教育を保障する場であり、医療と福祉と教育が連携を図りながら、一人ひとりの教育的ニーズを的確に捉え、個々の課題に応じた教育を推進しています。さらに退院に向けて、原籍校への復帰がスムーズに進むよう、原籍校との連携の充実にも取り組んでいます。平成25年度は5学級でスタートしたあすなろ分校の、特徴的な取組をいくつかご紹介します。

### 1組：「リズム」と「ことばかず」

1組の1限目は「リズム」の学習からスタートします。手をつなぎ、音楽に合わせてリズムよく歩いたり（手をつなぎ歩行）教師の指示で身体を動かしたりしながら（動作模倣）、相手のペースに合わせて動くことを学びます。その後の着席注視では、リーダーの教員が次々と繰り出すパフォーマンス（例えば指人形、シャボン玉、手作りのおもちゃ等）をみんなで見ます。子どもたちはとても興味を示し、意識



的に集中して見ることで、着席の持続性も自然と身についていきます。そして2限目の「ことばかず」の認知学習、概念学習へとつなげていきます。「ことばかず」の学習では、一人ひとりの状況に合わせた学習内容を、ホワイトボードに写真等で掲示し、見通しを持たせ、一つの学習が済むたびに花丸をつけて評価します。そして「ここまですると終わり！」を明確にして達成感を持たせています。

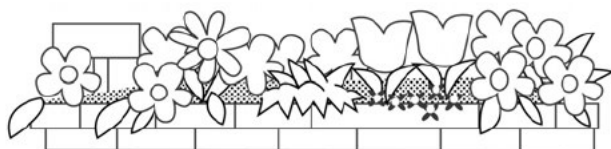
### 2～5組：たて割り学級と教科担任制

転入が多く、児童数も流動的なあすなろ分校では、たて割りで学級を編成し、教科の学習は学年ごとに、一部は複数学年合同で行っています。授業はできる限り複数指導の体制を組んでいます。また、児童の学習状況によっては、学年にこだわらず、基礎的な力をしっかりと定着させることを目標に、学習内容を変えて学習する場合があります。教員は、いろいろな教科で全児童と関わりを持つことにもなり、全職員で見守り支援する体制をとっています。

### あすなろタイムの取組

あすなろ分校では、協働の作業や体験活動を多く取り入れています。外部講師を招いて行う体験活動や、高学年で実行委員会を立ち上げ、教員とともに企画運営を行い活動する七夕集会、収穫祭、サンタ集会等です。リーダー体験により、達成感、成就感を味わわせることを目標にしています。また、高茶屋小学校本校との交流も年間を通して行っています。

ここにご紹介したのは一部分です。気軽にあすなろ分校にお越しいただき、支援を必要としている子どもたちについて一緒に考えていけたらと願っています。

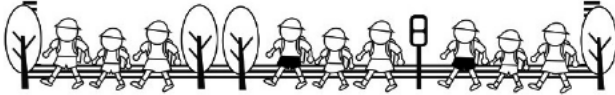


# あすなろ分校を 紹介します！

## 中学校

津市立南郊中学校あすなろ分校

教頭 奥田 佳弘



あすなろ分校は、県立小児心療センターあすなろ学園の敷地内にある津市立の中学校（南郊中学校の分校）という環境にあり、在籍する生徒全員が学園で入院治療を受けていて、毎日病棟から通学しています。5月1日現在、生徒数31名（知的障がい学級5名、自閉症・情緒障がい学級26名）、5学級ですが、生徒の入院期間がさまざまなため、転出入が多く在籍生徒数は流動的です。また、生徒一人ひとりが抱える課題もさまざま、個々に応じたきめ細かな指導が求められています。

分校では、学園との連携を十分図りながら、学校生活を通して生徒一人ひとりの個性や能力に応じた教育を推進して、基礎学力や学習習慣を身につけさせたいと思っています。また、いろいろな体験活動を通して達成感や満足感を体感することにより、生活の安定を図り、コミュニケーションの力を高めていきたいと考えています。そして、一日も早い原籍校復帰および適切な進路選択ができる生徒の育成を目指しています。

具体的に次のような取り組みを進めています。

- 1 学園・分校運営委員会（各学期1回）、治療教育合同委員会（毎月）、関係者会議（随時）、ケースカンファレンス（1ヶ月間で全生徒）、病棟連絡ノート（毎日）などを通して学園や病棟との連絡を密にし、生徒の状況をしっかり把握して、指導にあたっています。また、授業中も含め、複数の教員で指導にあたるようにしています。

2 原籍校で不登校になっていて、学年相応の学力が身につけていない生徒が多く、習熟度別学習（数学・英語）や個別指導により、基礎学力の定着を図っています。また、個別の指導計画に基づいてきめ細かい指導を心がけています。学習経験の少ない生徒が、自分にあった学習に取り組み、わかる喜びを感じながら、学習に対する意欲を向上させていく姿がたくさん見られます。

3 分校においても、修学旅行や遠足、体育祭や文化祭などの学校行事をはじめ、農作物や花の栽培、美化活動、太鼓演奏など、さまざまな体験を通して達成感を感じさせる取り組みを行っています。生徒の実行委員会を組織し、企画・運営に参加する活動もあります。体験活動を通して豊かな心を育てるとともに、原籍校復帰にあたり自信を持たせることをねらいとしています。

4 分校を卒業する生徒にとって、進路決定は大きな問題です。学力の定着、集団への適応などさまざまな課題を克服して、希望する進路に進めるよう、病棟や原籍校と連携を図りながら、個々の状況や家庭環境に応じた的確な進路指導を進めています。昨年は、県立高校に3名、私立高校に3名、特別支援学校に3名が進学しました。全員が希望通りの進学先でした。

あすなろ分校では、今後も「わかる授業」「楽しい学校」を目指して、さらに取り組みを進めていきます。学園と学校が医療と教育の立場で協力し合い、子どもたちの成長を願って支援を続けていきたいと思っています。



三重県立小児心療センターあすなろ学園  
子育て支援 講演会のお知らせ

「子どもを守り育てること ～児童精神科医療から～」

日 時：平成25年7月25日（木） 13時30分～15時30分 （開場13時）

場 所：三重県総合文化センター 文化会館 中ホール

講 師：田中 究 先生（神戸大学大学院医学研究科精神医学分野 准教授）

今年度は恒例の「あすなろ学園シンポジウム」を、午後からの講演会のみとし、児童精神科医療から考える「子どもを守り育てること」について、田中究先生にご講演いただきます。

児童精神科医である先生は、臨床心理士でもあり、PTSD研究の第一人者でもあります。

子どもの行動や情緒の問題は、子どもの本来の個性が周囲・環境との軋轢により生じる SOSとも言えます。子どもを守り育てるために児童精神科医療は何ができるのか、また教育・保健・福祉・医療の分野で働くさまざまな職種の方々や、保護者のみなさまとどのように協働していいのか、考え、学ぶ機会としたいと考えております。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

<定 員> 900人 <参加費> 無料

<申込み> ご所属・職種・参加人数を明記の上、FAXまたはEメールにて7月18日迄にお申し込みください（定員は比較的余裕があります）。

Eメールの場合は、件名を「講演会申込み」としていただきますようお願いいたします。

<問い合わせ先> 〒514-0818 津市城山1丁目12番3号

三重県立小児心療センター あすなろ学園 医療連携室

電 話：059-234-8700（内線332）

FAX：059-234-9361（FAX専用）

メールアドレス asunaro@pref.mie.jp

外来診療のご案内

（平成25年7月1日現在）

\*診察は完全予約制です。

都合により変更になる場合もあります。

●診察予約電話番号 **059-234-9700**

（受付時間 9:00～12:00  
（月～金） 13:00～16:30）

曜日	月	火	水	木	金
1 診	中島	西田	西田	大橋	大槻
2 診		中西	石田	中西	
3 診			大槻		
4 診	笹岡	中島	中野	柿元	中野